うちだっ子

「ウォルト・ディズニー氏の理念に学ぶ」

　ディズニーランドの創設者ウォルト・ディズニー氏は、「安全（Safety）」をすべての判断基準の最優先にしました。
　ウォルト・ディズニー考案した「パーク内の環境」は、来場者（ゲスト）の心をつかみ、「また、行きたいな。」という気持ちにさせられます。その理念は、現代の学校にも大変参考になります。



1 「整然とした美しさ」が、安心・安全を生む。
　ディズニーランドでは、落ちているゴミをすぐに拾い、ペンキの剥げを毎夜修繕するそうです。来場者に「ここは大切に管理されている安全な場所だ」という無意識の安心感を与えています。
　学校も同じことが言えます。
　校舎、グラウンド、花壇や庭が整然と美しく保たれている環境は、「ここは大切にされている場所だ」、「自分たちは守られている」と、子どもたちが無意識に感じ、自然と心が落ち着きます。
　反対に雑草が生い茂り、落ち葉や不要な物が放置されている場所は、怪我の要因、害虫の発生、あるいは防犯上の死角をつくります。整然と整えることが、最大の「事故予防・防災」になります。

2 「安全・安心」の上に、主体的な学びが芽生える。
　子どもたちが安心して自分を発揮し、仲間と協働して活動するためには、その土台となる「安全で清潔な環境」が重要です。子どもたちが笑顔で活動できる基盤となります。
　地域の豊かな自然や環境を活かしつつ、子どもたちが安心して過ごせる教育環境を整えていきます。

～内田っ子の活躍を紹介します。～



第60回記念弘法大師奉賛高野山競書大会
準特選　　3年